

事務事業名		上下水道料金賦課徴収事務			会計	水道事業				
課等名		水道業務課			事業種別	経常	開始		終了	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	上下水道の利用者			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	上下水道料金の適正な賦課と確実な徴収を図る。				利用者数				44809
	向上させたい上位施策の成果指標	水道普及率(%)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	徴収率				98.43				
	成果指標	賦課誤り件数				17				
	定性目標									
事業概要	<p>開閉栓の認定により上下水道利用者の特定を行う。 使用水量の検針から使用額を調定し、納入通知書の発行(口座振替依頼)、収納に至るまでの事務処理を正確・効率的に行う。 料金の未納者を極力減らすよう滞納整理を行う。</p>									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1 説明に納得を得られない方への対応 (1) 協議難航中の方へは粘り強く交渉を行う。 (2) 住所が不明な方へは、所在確認を引き続き行う。 2 分割納付中で、納入が滞っている方への対応 (1) 納入状況を確認し、戸別訪問する。 3 再発防止策を徹底する。(22年度防止策を実行) (1) 書類審査を厳格に行う。 (2) 月例の定例会を開催し、関係課の緊密な連携を確保する。 (3) 無届け、申請漏れの下水道接続を防止するため、検針員の確認と速やかな連絡を継続的に保つ。 (4) 指定工事店への協力要請、不正工事への厳格な処分を行う。									
事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①	0	0	0	0	財源のその他は水道料金					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源										
人件費計(千円)②	0		10,728							
正規職員所要時間			3,000							
臨時職員所要時間										
総事業費①+②	0	0	10,728	0						
事業内容・目標達成状況の振り返り	引き続き適正な債権管理に取り組んでいく。									
改革改善の考え方	①問題点	多様な未納者の存在								
	②改革提案	個別に具体的な対応を行う。								